

～記録を活用した教育のつながり～
ドキュメンテーション（鳥取大学附属学校・園） G



「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の視点で、年長時にとりためたドキュメンテーション形式の記録を小学校への引き継ぎ資料に。小学校は、園での遊びの様子や保育者の援助・環境構成を知り、指導に生かすようにしています。

★（鳥取大学附属小学校・附属幼稚園）

～接続カリキュラムをみんなで編成～
合同研修会（倉吉市） H



教育委員会・保育担当課がリードしながら、市の接続カリキュラムを編成中。園と小学校それぞれの幼保小接続推進リーダーが意見を出し合い、編成に向かっていきます。

★（社小学校、社保育園）

⇒ドキュメンテーション・接続カリキュラムの全体はこちらのQRコードから見られます。  【幼保小連携・接続】お役立ち情報

～校区で見つける学びのつながり～
合同研修会（北栄町） I

1回目
授業参観

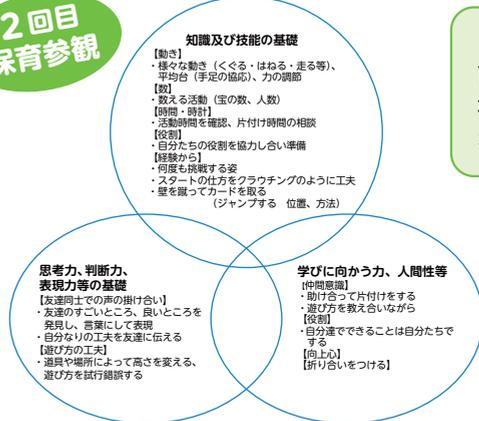


1年生生活科の授業を保育者が参観。1年生の姿を「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に照らし合わせて参観し、その後、園と小学校の子どもの姿のつながりについて協議しています。

★（北条小学校、北条こども園、北条みどりこども園）

2回目
保育参観

<年長児運動遊びの姿>



2回目は、「資質・能力のつながり」を視点にして研修会を実施しています。



接続カリキュラム（北栄町） J

【北条小校区 接続カリキュラム】		北条小校区目指す子どもの姿	
ともに 5領域		健康 人間関係 環境 言葉 表現	幼児期の 終わりに 育ってほしい姿
観点	視点	10月 ⇒ 11月 ⇒ 12月	1月 ⇒ 2月 ⇒ 3月
やさしく 豊かな人間性	自己発揮 ～きらきら～	自分のことを認めたり経験を通して自信をもって行動する。 友達と十分かわり、自分の力を発揮し、遊びを進めていく達成感を味わう。 【得意感、誇り意識】 【自信】 友達の考えを聞き取り、自分の考えや意見などを話し取り、伝わるうれしさを感じる。・当番活動やグループ活動の中で、役立ち感を感じる。	自分のやりたいうえに、遊びに夢中になる。 【友達同士での声の掛け合い】 ・友達の手を引くところ、良いところを褒め、言葉にして表現 ・自分なりの工夫を友達に伝える 【遊びの工夫】 ・道具や場所によって高さを変える、遊び方を試行錯誤する
	協同性 ～わいわい～	自分の考えと相手の考えの違いに気づき、折り合いをつけようとする。【自分の考え、相手の考え、折り合い】 【友達の考えを聞き取り、自分の考えを伝える】 友達の考えを聞き取り、自分の考えや意見などを話し取り、伝わるうれしさを感じる。・当番活動やグループ活動の中で、役立ち感を感じる。	大きく広がった遊びを味わい、身近な人々に感謝する。 自分の感じたことや考えたことを友達にわかるように伝えると、友達の言葉に気づく。
	きまり ～はかばか～	自分たちでルールを作ったり、遊びを考えたりにみんなで楽しむ。 【ルール意識、まねごっこ、鬼ごっこ】 ・地域の公園等を利用する。	友達と一緒に考えたルールを守りながら、自分たちで遊びを進める。 ・今は何をすべきかなどを自分なりに判断し、状況に応じた行動をする。
かたく 学びの基礎	意欲 ～もりもり～	戸外等の遊びに意欲的に取り組み、友達と一緒に遊びを進めさせる。 身近な環境や自然環境に興味や関心をもち、遊びの中に取り入れようとする。 【水の遊び、砂遊び、泥遊び】 ・小学校との交流の中で、あそびの気持ちを、持ちよりにやってみようとする。	少し難しいことでも繰り返し挑戦し、できるようになったことに自信をもつ。 【好奇心、興味、挑戦心】 ・小学校との交流などを通して、就学への期待感を高め、意欲的に生活する。 【就学意欲】
	探究心 ～わくわく～	身近な環境・自然環境に興味や関心をもち、遊びの中に取り入れようとする。 【好奇心、興味、挑戦心】 ・小学校との交流の中で、あそびの気持ちを、持ちよりにやってみようとする。	遊びや生活に必要な情報を絵本や図鑑等を使って調べたり、伝えたりする。 【情報活用能力】 ・遊びや生活に必要な情報を絵本や図鑑等を使って調べたり、伝えたりする。
	表現 ～ここに～	絵本や動画などを見て、興味をもつ。イメージを思い出し、表現する。 友達といっしょに歌やダンスなどを使って、曲の感じやリズムの変化を楽しむ。 【歌、ダンス、リズム】 ・いろいろな材料を自分のイメージに合わせて見立て、工夫して使う。【創作意欲】 ・日常生活の中で、歌や文芸に興味をもち、生活に取り入れる。	思ったことや感じたことを絵や言葉などで表現する。 【表現力】 ・思ったことや感じたことを絵や言葉などで表現する。
たく 健康	食育	食事のマナーに気づき、友達や保育者と一緒にお食事を食べる。 【食育マナー】 ・食べ物や健康の関係を知り、喜んで食べようとする。 ・食育活動を通して、調理や調理の楽しさを味わう。 【調理活動】 ・食育活動を通して、調理や調理の楽しさを味わう。 【調理活動】 ・食育活動を通して、調理や調理の楽しさを味わう。 【調理活動】	遊びや生活に必要な情報を絵本や図鑑等を使って調べたり、伝えたりする。 【情報活用能力】 ・遊びや生活に必要な情報を絵本や図鑑等を使って調べたり、伝えたりする。
		自然との関わり ・生命尊重	・季節から月や日までの一連の流れに慣れる。 ・時間の見直しを持ち、目標を決めて残さず食す。 ・友達と一緒に遊びやルールを考え、きまりを守る。

園・学校が目指す子どもの姿を共有した上で、学校教育目標と園の視点とのつながりを踏まえ、子どもの育ちをつないでいるカリキュラムです。

保幼小連絡会・研修会等でこの接続カリキュラムを使って園児や児童が学んでいることや大切にしたい子どもの姿を見取り、話し合うためのツールとして活用しています。



※前年度から改善した点は赤字で示し、カリキュラム・マネジメントの実現を図っています。

～一部抜粋～

幼保小の合同研修例

組織を
つなぐ

人を
つなぐ

教育を
つなぐ

※英字記号については、P.2・3と併せてご覧ください。

行事・参観・交流活動等を通して、教育内容等を理解する。

B D E F I

校区のめざす子どもの姿の共通理解

公開保育後、「**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**」を基に、園の遊びから小学校等(特に1年生)への学習・生活のつながりについて協議する。**E I**

「**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**」の視点で記録を取り、小学校教職員に説明することで、園で学んでいることや保育者の援助等を小学校等の指導に生かす。**E G I**

公開保育後、幼児期において「**育みたい資質・能力**」で園児の姿を見取り、共有する。**I**



鳥取県幼保小接続ハンドブック



研修お役立ち情報満載!

〈研修会等で活用できるワークシート〉

- ・3つの資質・能力
- ・「**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**」

ダウンロードして
ご活用ください。

〈県内実践事例紹介〉

- ・交流実施計画 **F** ・接続カリキュラム **J**
- ・ドキュメンテーション **G** 等

参考に
してください。



【幼保小連携・接続】
お役立ち情報
県幼児教育センターHP内

幼保小接続アドバイザーを派遣しています!



幼児期の育ちや学んでいることって伝わりにくいなあ。



見学や体験のやりっぱなしになっていて、深まらないな。協議の場をもちたいけれど。



交流がマンネリ化。いつもお客さんになってしまう。どうしたらいいかな?



保育見学後の合同研修会での講話の様子(日吉津村)



接続アドバイザー



～参加者の声～

合同研修会は初めてだったが、無理のない進行方法についてアドバイスをいただき、安心して研修運営ができた。

子どもの姿や校区のめざす子どもの姿を共有し、深めていく大切さを実感した。

我が子が夢中になって遊んでいる中に、たくさんの学びがあるとわかり、幼児期の遊びの大切さがわかりました。(保護者)

派遣実績例

幼保小連携・接続に関する講演・演習・指導助言を行います。

- ・管理職による幼保小連絡協議会
 - ・園児と児童の交流会や交流後の職員合同研修会
 - ・接続カリキュラム編成のための研修・会議
 - ・小学校等または園における保護者研修会
 - ・市町村が開催する研修会・保護者講演会 等
- ※市町村や校区のニーズに合わせて対応しています。

申込・問合せ先

所管教育局へ

※依頼文・報告書などの様式は、所管教育局のHPよりダウンロードしてください。

Q. たくさんの園から入学してきます。すべての園とつながるのは難しいです。どうしたらよいでしょう。

まずは、校区にある園に声をかけて管理職で集まり、校区の子どもの良さや課題を話し合いました。 **A**



今年度入学してきた児童のいる園に授業参観の案内を送りました。たくさんの園が来てくださり、子どもの姿を通して、接続期に大切にしたいことについて話し合うことができました。



Q. 園・小学校等の交流の調整がうまくいかず困っています。

校区内の管理職等の連絡会をもち、年度当初に年間の交流・連携計画を立てることで、見通しをもった交流ができます。 **A**

交流会の調整が難しい時は、小学校等の校庭の遊具で遊んだり、図書館で園児が本の貸出を経験したりするなど小学校等の施設利用も園児にとって小学校への期待が膨らむ経験です。

コロナ禍でも、ビデオレターやオンラインでの子ども同士のやりとり、手紙や絵はがきの交換など、できる形での交流をしています。



Q. 連携・接続で大事にすることは何ですか？



その1 担当者の名前と顔がわかる

互いの職員の顔写真を掲示している校区があります。顔がわかると安心して相談できます。

その2 園や学校等に行こう

子どもたちがいる時がよいのですが、いなくても子どもたちが過ごしている環境を実際に見ることで、お互いの教育内容を理解できることがたくさんあります。



その3 交流は互惠性を大切に **F**

お互いに「やってよかった」と思える交流にするために、事前、事後の話し合いが大切です。お互いのねらいを確認し、交流活動を充実させ、事後は、子どもの姿を語り合い、その後の学習・遊びの改善につなげましょう。

その4 保護者への支援をつなぐことも大事 **C**

支援を必要としている家庭や子育て・入学に不安を抱えている保護者の様子・情報・支援内容等についても情報共有し、園・小学校等・保護者・地域が協働し、安心して子育てできる体制をつくることも大切です。また、一度でなく、子どもの様子がつかめた6月頃、改めて情報交換をしている園・小学校等もあります。

Q. 毎年、保育体験や授業参観、子ども同士の交流をしています。十分ではありませんか？

「教育をつなぐ」段階へ進みましょう。接続カリキュラムを一緒に編成したり、スタートカリキュラムやアプローチカリキュラムについて話し合ったりすることで、育ちや学びがつながり、小学校入学が「ゼロからのスタート」になることを防げます。お互いの教育内容や子どもの姿を知ること、自園・自校の教育を振り返り、改善に生かしていくのが接続です。

G H J

連絡先

<p>小中学校課 幼児教育担当 係長・指導主事 幼児教育支援員 TEL 0857-26-7915</p>	<p>東部教育局 幼児教育担当指導主事 保育専門員 TEL 0857-20-3671</p>	<p>中部教育局 幼児教育担当指導主事 幼児教育アドバイザー TEL 0858-23-3251</p>	<p>西部教育局 幼児教育担当指導主事 保育専門員 TEL 0859-31-9773</p>
---	---	--	---



鳥取県幼児教育センター 検索



<https://www.pref.tottori.lg.jp/30030.htm>



一人一人の発達に必要な体験が得られるような状況をつくり、必要な援助を行ったりする

小学校等で

幼児期において自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが各教科等の学習に円滑に接続されるよう、指導の工夫を行う

幼児期の遊びの中の「学び」は見えにくいとされています。幼児期の「学び」の姿の可視化を図り、園と小学校等の教職員との連携や、地域・家庭等との連携のための手段のひとつとして「**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**」が示されました。園も小学校等もこの子どもの姿を手がかりにして、**子どもの育ちを捉え、語り合い、共有しながら**、教育・保育活動に取り組むことが求められています。

自然との関わり・生命尊重

自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気づき、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にす気持ちをもって関わるようになる。



数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。



言葉による伝え合い

先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。



豊かな感性と表現

心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気づき、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。



「**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**」は、幼児期において育みたい資質・能力が育まれている園児の具体的な姿であり、特に5歳児後半に見られる姿です。また、園において、発達段階に応じて、それぞれの時期にふさわしい遊びや生活を積み重ねることにより見られる姿であり、同時に小学校教育の始まりの姿です。

- <留意点>
- ☆ 方向目標であり、到達目標ではない。
 - ☆ 一つずつ取り出して指導したり、評価したりするものではない。
 - ☆ 全ての子どもに同じように見られるものではない。

※小学校等…小学校・義務教育学校・特別支援学校を総称しています。

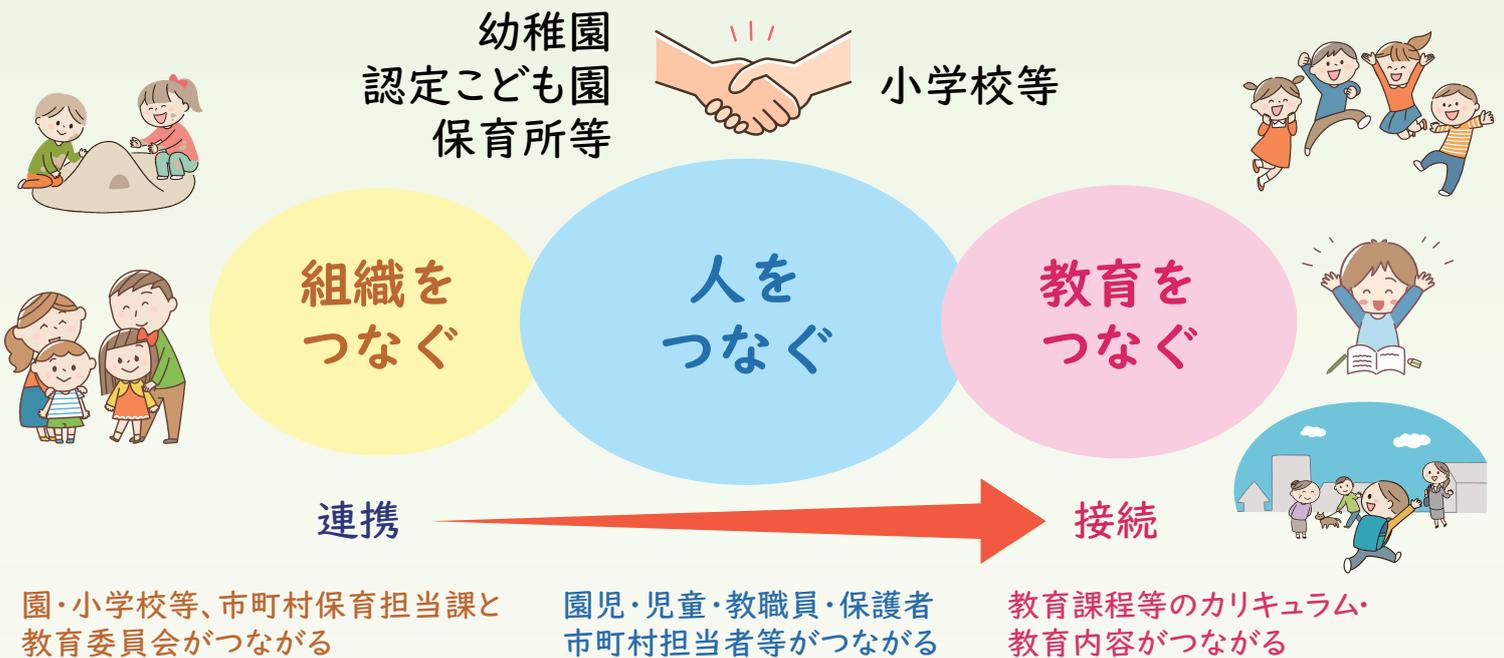
育ちと学びをつなぐ 幼保小の連携・接続

「遊び」を通して育まれた **主体性**、身に付けた **資質・能力** を
小学校以降の学習や生活につなぎましょう！

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(P5・6)を手がかりに、園児・児童の内面に育っていることや学んでいることを捉え、園・小学校等双方が、保育・教育の充実を図りましょう。

幼児期は「遊び」を通して、学びの土台となる資質・能力を身に付ける時期です。小学校等においては、学びをゼロからスタートするのではなく、幼児期に身に付けた資質・能力を生かし、伸ばしながら教科等の学びにつないでいくことが、小学校学習指導要領総則などにも示されています。

幼保小の円滑な接続をめざす 3つの「つなぐ」



園・小学校等・家庭・地域が一体となって、未来を切り拓くための
資質・能力を育成しましょう。



園と小学校等が連携し、校区のカリキュラムを
編成し、双方でカリキュラム・マネジメントの実現を
めざしましょう。➡ P.2・3・4



あそびきりん

あそびっきい

鳥取県幼児教育応援キャラクター

鳥取県幼児教育センター

令和4年2月

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえて

健康な心と体

園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。



自立心

身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。



協同性

友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。



道徳性・規範意識の芽生え

友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつかったり、守ったりするようになる。



社会生活との関わり

家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気づき、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。



思考力の芽生え

身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気づき、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。



幼保小の円滑な接続をめざす

3つの「つなぐ」

組織をつなぐ

人をつなぐ

教育をつなぐ

※英字記号については、P.7・8と併せてご覧ください。

組織をつなぐ

園・小学校等・市町村が
つながる

～管理職がつながる～ 中学校区連絡協議会（鳥取市） **A**



年に数回、園長・校長が集まり、校区の円滑な接続に向けて、めざす子どもの姿やカリキュラム等について話し合っています。

～合同研修会の充実・広がり～ 郡内研修会（日野町） **B**



日野町だけでなく、日野郡3町の園・小学校へ声をかけ、1年生の授業参観後、講演会を実施。幼保小接続についての学びを広げています。

★（根雨小学校、ひのっこ保育所）

人をつなぐ

園児・児童・教職員・
保護者がつながる

～保護者・子どもの安心のために～ オープンスクール （米子市全小学校の取組） **C**



学校探検をしたり、「学校ごっこ」を体験したりして、入学への期待感を高めています。

保護者座談会で園と小学校の保護者同士のつながりづくりを進めています。



～保育体験から見える子どもの育ち～ 保育体験（鳥取市） **D**



夏休みに小学校の教員がそれぞれの園で保育体験をしています。



子どもたちが遊びの中から学んでいることや育っている姿、保育者の援助の仕方や園の環境構成について学びます。

★（面影小学校、白ゆり保育園、認定こども園さくら幼稚園・さくら保育園）

教育をつなぐ

教育課程・教育内容が
つながる

～園で見つける子どもの育ち～ 合同研修会（米子市） **E**



保育見学で見られた子どもの育ちを「**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**」を手がかりに共有しています。

★（弓ヶ浜小学校、富益保育園）

～互恵性のある交流をめざして～ 園児と児童の交流会（琴浦町） **F**

4	ねらい	<table border="1"> <tr> <th>年長児</th> <th>1年生</th> </tr> <tr> <td>・1年生と会話をしながら夏の遊びを一緒に楽しむ。 ・1年生と一緒に遊びに必要なものを作って遊び、自分が作った物で思い通りに遊ぶ満足感や達成感を味わう。</td> <td>・小学校で高学年に間わってもらった経験から、年長児に詳しい言葉をかけたり、相手の立場に立って関わったりする。 ・出し物を通して成長した姿を披露したり、小学校の楽しさを伝えたりする。</td> </tr> </table>	年長児	1年生	・1年生と会話をしながら夏の遊びを一緒に楽しむ。 ・1年生と一緒に遊びに必要なものを作って遊び、自分が作った物で思い通りに遊ぶ満足感や達成感を味わう。	・小学校で高学年に間わってもらった経験から、年長児に詳しい言葉をかけたり、相手の立場に立って関わったりする。 ・出し物を通して成長した姿を披露したり、小学校の楽しさを伝えたりする。				
年長児	1年生									
・1年生と会話をしながら夏の遊びを一緒に楽しむ。 ・1年生と一緒に遊びに必要なものを作って遊び、自分が作った物で思い通りに遊ぶ満足感や達成感を味わう。	・小学校で高学年に間わってもらった経験から、年長児に詳しい言葉をかけたり、相手の立場に立って関わったりする。 ・出し物を通して成長した姿を披露したり、小学校の楽しさを伝えたりする。									
5	評価	<p>年長児）○久しぶりに会えたことを喜び、会話をしたり進んで関わったりして遊んでいる。 ○1年生と一緒に工夫したり試したりしながら、自分がイメージした物を使って繰り返し遊んでいる。</p> <p>1年生）○年長児の様子を見ながら困っていることに気づき、気持ちや考えを聞きながら、一緒に遊んで楽しむ。 ○大きな声で出し物の発表をし、年長児に見てもらって喜びを感じている。</p>								
6	活動の流れ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>時間</th> <th>活動</th> <th>年長児に対する配慮・支援等</th> <th>1年生に対する配慮・支援等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9:30</td> <td>○遊戯室に集合 ○はじめの会</td> <td>・1年生が集まることへの嬉しさに共感しながら、招待状を送った1年生を出迎え、遊戯室に一緒に集まれるようにする。</td> <td>・発表に対する緊張や不安がある子どもには、安心して参加できるように言葉かけをしています。</td> </tr> </tbody> </table>	時間	活動	年長児に対する配慮・支援等	1年生に対する配慮・支援等	9:30	○遊戯室に集合 ○はじめの会	・1年生が集まることへの嬉しさに共感しながら、招待状を送った1年生を出迎え、遊戯室に一緒に集まれるようにする。	・発表に対する緊張や不安がある子どもには、安心して参加できるように言葉かけをしています。
時間	活動	年長児に対する配慮・支援等	1年生に対する配慮・支援等							
9:30	○遊戯室に集合 ○はじめの会	・1年生が集まることへの嬉しさに共感しながら、招待状を送った1年生を出迎え、遊戯室に一緒に集まれるようにする。	・発表に対する緊張や不安がある子どもには、安心して参加できるように言葉かけをしています。							

交流実施計画 ～一部抜粋～



交流実施計画を作成し、互いのねらいを大切に
した互恵性のある交流をしています。

接続カリキュラム

園で

園と小学校等でともに

小学校等で

アプローチカリキュラム

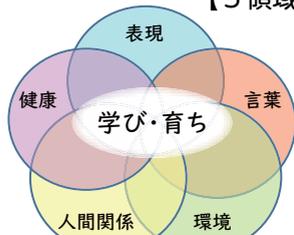
～編成・実施のポイント～

- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手がかりに編成
- 5歳児の年間指導計画とのつながりを考えて編成
- アプローチカリキュラムについて保護者への説明を実施
- 園職員全体で検討・共有

～内容をチェック～

- 校区のめざす子どもの姿の位置付け・小学校等とのつながりを意識
- より自主的・主体的な遊びとなるよう意識
- 意図的に組み入れた協同的な遊び・体験を計画
- 文字や数等に興味・関心をもつ環境の構成
- 小学校等に期待をもち、自信をもつことにつながる遊び・体験を計画
- 小学生との交流活動等の設定
- 地域・園・小学校等の特色を生かした活動を計画

遊びを通しての総合的な指導【5領域】



どう編成する？ 接続カリキュラム J

語ろう！ 子どもたちのこと

Step1

実際の子どもたちの様子と一緒に見る機会をもちましょう。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を視点に語り合しましょう。

知ろう！ 園のこと・学校のこと

Step2

それぞれに尊重すべき違いがあります。一方が他方に合わせるというものではありません。互いの教育内容・大切にしている指導や支援を知ることが大切です。

相談しよう！ めざす子ども像

Step3

市町村・校区でどんな子どもを育てていこうとするのか語り合い、定めましょう。この姿をめざして園・小学校等それぞれの取組を考えます。

つなげよう！ 育みたい力(資質・能力)

Step4

園と小学校等が共通の視点を持ち、共通項目を設定することで、指導内容や指導・支援が、具体的にかつ系統的につながります。

資質・能力をつなぐ

スタートカリキュラム

～編成・実施のポイント～

- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手がかりに編成
- 1年生の年間指導計画とのつながりを考えて編成
- スタートカリキュラムについて保護者への説明を実施
- 教職員全体で検討・共有

～内容をチェック～

- 校区のめざす子どもの姿の位置付け・園とのつながりを意識
- 主体性を発揮できる学習活動の展開
- 生活科を中核とした合科的・関連的な指導
- 弾力的な時間割の工夫
- 園で経験した遊び・体験活動を活用
- 園での環境構成(視覚支援等)を活用した学びやすい環境づくり
- 教職員や友達と関わり、出会いの楽しさを感じる活動の工夫
- 地域・園・小学校等の特色を生かした活動を計画

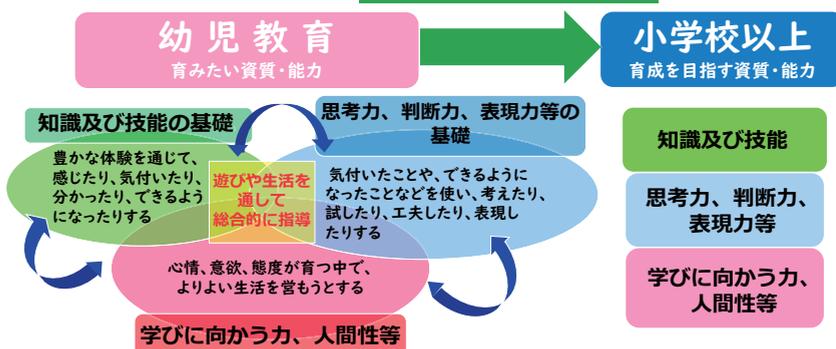
教科等を通しての指導

低学年では、各教科等の指導において、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連に考慮します。



【幼保小連携・接続】
お役立ち情報

資質・能力をつなぐ



ポイント1

相互の教育のよさを取り入れる

ポイント2

主体的に自己を発揮できる遊びや学習を意図的につくる